

# 「おにわさん」通信

「お庭さん」とは丸亀藩京極家の大名庭園・中津万象園の木の手入れをしている「庭師さん」のこと。いちばん中津万象園のお庭のことを知っている、「お庭さん」。その「お庭さん」のお話を、毎年4回お届けします！



今年も傘松の剪定の季節になりました！

平成16年(台風)の大松の倒木により大きく穴があいてしまいましたが、被害から6年がたち、大分形が治ってきました。

傘松の中は、クモの巣のように複雑になっています。外からは見にくいんですけど、中も面白いですよ。(でも、中へは入らないでくださいね。松の根が傷みますので...) 一度綺麗になった傘松を見に来てください。



< 第 1 号 >  
H22. 12月発行  
公益財団法人中津万象園保勝会  
中津万象園・丸亀美術館  
文・写真/田口彰良(造園課長)

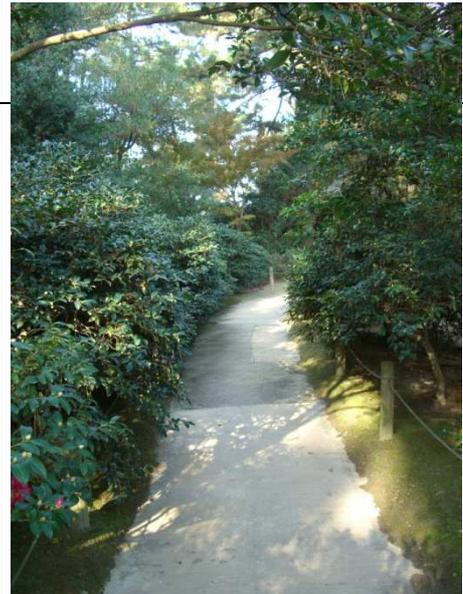
## お正月が見頃です！

母屋より石投げ地蔵までの間は、園路両サイドがサザンカでいっぱい。お正月ごろには赤一色で見事です。

大松の並木の中を歩きながら、川の流れる水音、サザンカの花の蜜を吸いに飛び回る小鳥で何とも言えない空間です。



←今はまだつぼみばかりですが、お正月には真っ赤な道となります。



↑傘松の中は面白いけれど…。松の根が傷むので、どうぞ、中へは入らないでくださいね！この写真を見て、ガマンガマン。

## 藁アート？いえ、剪定済みです。

この季節になると落葉樹の葉、剪定後の葉、大松の古葉(大風が吹くと一面に古葉が落ちます)が多くなり、すぐトラック1車になります。(年間40回位は搬出しています。)

昔は松葉の使い道が色々あったみたいですが(よくお客さんが昔は山によく集めに行ったりと笑いながら言っていますが)、今では畑に敷くぐらいです。

仕事をすればするほどゴミが出ます。仕方がないですね。

←大量の松葉。何か良い利用方法、ありませんか？

